# ニュースレター

第７号２０１４年 10 月発行

難病医療相談支援センター　松浦千春
（浜松医科大学医学部附属病院内）〒431－3192
浜松市東区半田山１－２０－１
ＴＥＬ／ＦＡＸ（０５３）４３５－２４７７

**すっかり秋になり、台風の季節が到来しました。圧倒的な自然の力にはかないませんが、常日頃から防災意識を持って、被害を最小限に留めたいものですね。**

## 災害時難病患者受け入れ調整訓練のご協力ありがとうございました！

8月27日（水）に行われた訓練の報告です。協力病院37のうち、事前に「受け入れ不可」という連絡をいただいた3病院を含め、全協力病院に訓練メールを送信しました。10 時 37 分までに 29 病院から返信があり 43 名の受け入れが可能となりました。翌日 9 時 21 分を最終に計 34 病院から返信をいただき 45 名の受け入れが可能という結果でした。以下、訓練の内容です。

9:00　疾病対策課からの訓練メールを受信
9:11　協力病院へ訓練メールを送信
9:42　返信メールより、協力病院 3 病院と拠点病院で模擬患者 5 名が全て受け入れ可能となり
　　疾病対策課に一次報告　この時点では
　　患者①②は下田メデイカルセンター
　　患者③は静岡てんかん医療センター
　　患者④⑤は浜松医大　　以上で受け入れ可能
10:37　協力病院 29 病院から返信を確認。拠点病院と合わせて計 43 名の受け入れが可能となり
　　患者所在地から搬送先病院を選定。疾病対策課へ報告。
　　患者①　アタミ　タロウ　中伊豆リハビリテーションセンター
　　患者②　シンフジ　タロウ　静岡富士病院
　　患者③　シズオカ　ハナコ　焼津市立総合病院
　　患者④　カケガワ　サブロウ　天竜病院もしくは聖隷浜松病院、聖隷三方原病院
　　浜松医療センター、浜松医大
　　訓練終了
　　翌日 9:21 最終の返信あり。合計 34 病院から返信、45 名の受け入れが可能という結果

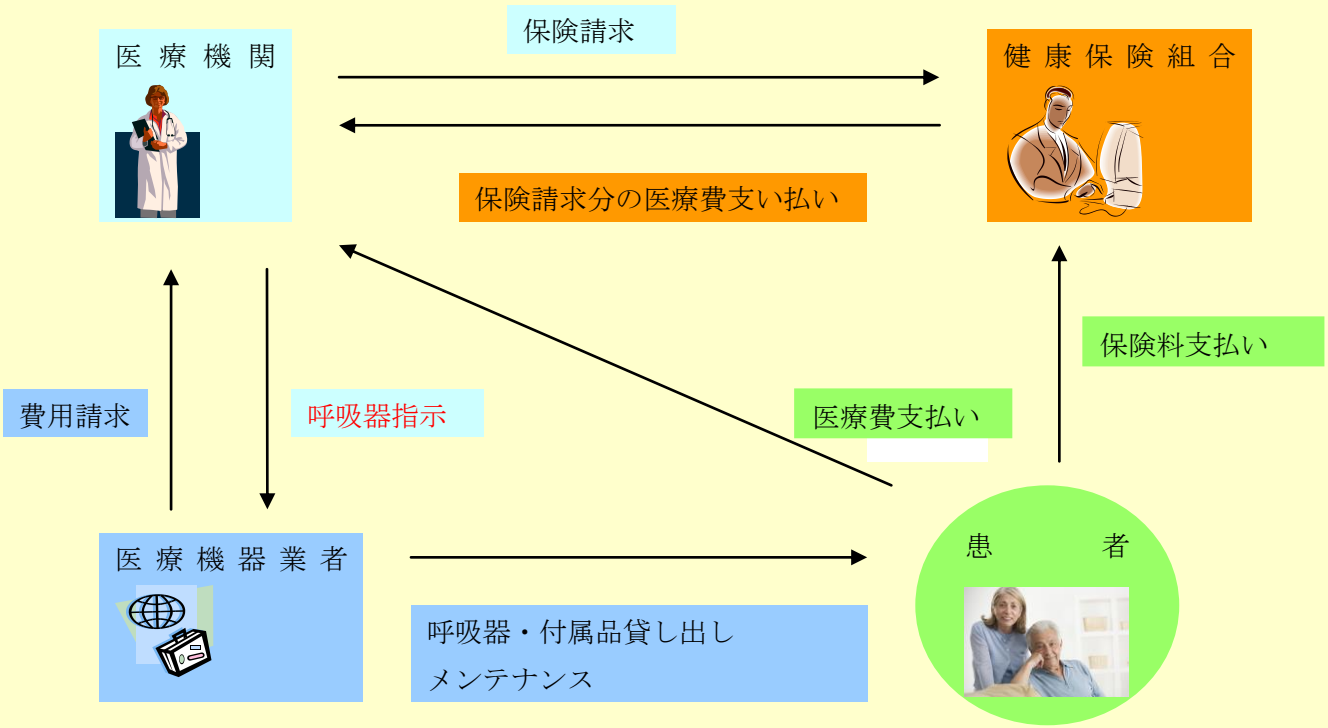
＊　今回は小児患者が設定されていましたが、小児患者の受け入れが不可能な病院は3病院でした

この訓練で、毎回問題になるのが患者の搬送方法をどう考えるのか？という点です。疾病対策課と話し合いましたが、現実的には、拠点病院・協力病院が機能し役割を果たせるかどうか、訓練通りに、メールで受け入れ可否が調べられるかどうかが分かりません。患者の受け入れについて、拠点病院として把握できている情報、あるいは、まったく把握できていないという情報を県災害対策本部に報告する。また、受け入れ調整ができた場合の搬送方法については、病院では県内の道路等の被害状況が把握できないことから、これも災害対策本部に連絡して手段を検討するということになりました。

## 在宅人工呼吸器の外部バッテリーについて

静岡県内で、気管切開をし、人工呼吸器を装着している在宅患者さんは 160 名程いらっしゃいますが、そのうち、人工呼吸器の外部バッテリーをもっていらっしゃる患者さんは 4 分の1程度にとどまっているそうです。東日本大震災後に、診療報酬点数が見直され、人工呼吸器加算 7480 点（マスク式の場合は 6480 点）の中に、療養上必要な回路部品その他付属品の費用が含まれるようになりましたが、外部バッテリーを付属するには医師の指示が必要になります。現在では、予め外部バッテリーが取り付けされている呼吸器もありますが、内部バッテリーのみで在宅にいらっしゃる患者さんが、まだまだ多いようです。この現状を、かかりつけ医等に知っていただき、外部バッテリーの普及につながるよう、県疾病対策課を通じて、医師会に要望しました。

**呼吸器レンタルの流れ**




※　個人で自費購入する場合は自由です

## 第 19 回日本難病看護学会学術集会の御報告について

8 月 29～30 日に広島県呉市の広島国際大学で開催された第 19 回日本難病看護学会学術集会に出席する予定でおりましたが、私事で大変申し訳ありませんが、8 月に右足首骨折をしてしまい、出席を断念致しました。皆様に御報告ができなくなりましたことをおわび致します。